

# poke たべ書き

Vol.2

レツ・スティング！ ジャズ特集

創造性豊かで文化が薫る大人の街、  
中央線・阿佐ヶ谷で味わうジャズミュージック。

阿佐ヶ谷在住のジャズ・ミュージシャン小田陽子・智昭姉弟が語る

## 街と人が響き合う、ジャズの街・阿佐ヶ谷の魅力



## 大阪・チリ・そして杉並へ

陽子：生まれは大阪の豊中。親が転勤族だったのであちこちに行って。住んでは茨城県立市でしょ。東京から大阪でも2箇所くらい。それから南米のチリ。「お父さん外交官ですか？」って聞かれるんだけど、鉱山会社。チリで住んでいたのは赤道の近くで暖かめ、春夏秋冬の区別がほとんどないところだった。

智昭：俺も生まれはチリだよ。私が住んでて拠点があったの。そこに今阳子：杉並には元々おばちゃんが住んでいて、それが我が家で、そこまで私は飲んで、望月さんが夜まで赤坂でピアノを弾いて、夜0時くらい店番をしていたんだよね。まだ店内でバンドのライブはやっていなくて、漫画家や役者者が集まるようなお店だった。もしかしたらマンハッタンがドラマを続ける転機になったかも。されないんだよ。

智昭：俺もその頃、2日で8ステージくらい出ていたよ。そういうは娘と奥さんも違う会場で出演して、家族全員別々の場所に出たこともあるんだよ。

## 阿佐ヶ谷ジャズ・バー巡り

智昭：20歳くらいの頃は地元では飲んで最初に行つたのがクラヴィークだったね。当時はバーセンターのビルの2階にあって、中からママさんが話している声が聞こえてくるんだけど、はじめの2回くらいは入るの

陽子：私は飲んで、望月さんがピアノを弾いて、深夜演奏し出したのがマンハッタンのジャズ・セッションの始まりなんだよね。ちょうど同じだらアエイー！」なんて言われてその気になっちゃって、道を踏み外して（笑）。私は残念だったね（笑）。私もハッタンで2回くらいライブ演つて、そのままア佐ヶ谷ジャズストリートが始まっていたから。95年くらい。

## 手作りのジャズストリート

【小田陽子】 大阪生まれ、東京育ち。小学校の3年間は南米チリで過ごす高校・大学時代からギター弾き語りで1982年キングレコードよりデビュー。歌手・作詞作曲「ラジオDJ」司会執筆など幅広く活動。【小田智昭】 ドラム・コンガ奏者。1961年南米チリ生まれ。兵庫、東京育ち。慶大中退、米国LAの音楽専門学校M.I卒。ソウル・ジャズ・ラテン等幅広く活動。阿佐ヶ谷在住で、地元での演奏、夜の飲み屋街バトロールに忙しい。

## 阿佐ヶ谷百貨店

まるごと楽しむ、阿佐ヶ谷。

阿佐ヶ谷百貨店は、阿佐ヶ谷ジャズストリート実行委員会が運営する「まるごと楽しむ、阿佐ヶ谷。」をコンセプトとした仮想の百貨店です。地域のお店とお客様をつなぐ街のポータルサイトとして、飲食店・物販店・サービス業・音楽・エンタメなど、阿佐ヶ谷の様々な業種のお店の情報が集まっています。

## なみじやない、杉並！

中央線あるあるPROJECT

中央線あるあるPROJECTは「なみじやない、杉並！」を合言葉に、官民連携で杉並区内の中央線沿線（高円寺・阿佐ヶ谷・荻窪・西荻窪）の魅力を発信しています。詳しくはWEBサイトまたはFacebookページをご覧下さい。

2024年3月発行(第2版)

## 阿佐ヶ谷ジャズストリート

阿佐ヶ谷の  
情報満載！

詳しくはこちら

WEBサイト

Facebook



なみじやない、杉並！

中央線あるあるPROJECT



音楽、お酒好きが集まる阿佐ヶ谷の台所

### のみくい処 青月

盛り合わせ3種



音楽と料理をコンセプトに、スターロードのビルの3階で仲良し夫婦が営む居酒屋。ミュージシャンとして活動する夫の青木リヨータさん、子どもの頃からジャズに馴染みのある妻あやさんと音楽トークに花が咲く。スパイス料理をはじめ丁寧に作られたジャンルレスの創作料理も楽しめる店。

住 阿佐谷北2-2-1 3F  
営 18:00-24:00 休 火・水



極小ライブハウスで聴くほど生音のジャズは迫力満点

### MANHATTAN

ヒューガルデン・ホワイト



1938年生まれ現役のピアニスト／アコーディオニストの望月さんが1985年に開店したライブハウス。料理好きの望月さんが作るピザやパスタなどの食事メニューも。目の前で繰り広げられるジャズ・ライブは圧倒的な迫力で、若いプレイヤーが多く出演する登竜門的なお店。阿佐ヶ谷のジャズの歴史に欠かせない一軒。

住 阿佐谷北2-2-7 3F 電 03-3336-7961 営 19:00-22:30 休 月・火



隠れ家のような趣きあるジャズ・バーでレコード鑑賞を

どんがら 鈍我楽 オールド・クロウ(ソーダ割)



1966年に21歳でジャズ喫茶を始めたジャズ筋のマスターが営む老舗ジャズ・バー。60～70年代のモダン・ジャズを中心にアナログ盤のコレクションは約2,500枚。リクエストもでき、歴史を感じるコードリストも必見。バーボンを中心にお酒を楽しみながら世代を超えてジャズや美術、映画などの会話が弾む店。

住 阿佐谷南3-37-11 営 20:00-翌2:00 休 日

盛り合わせ3種

# 阿佐ヶ谷 たゞあさき

レツ・スウィング！ ジャズ特集

心地良いジャズを楽しみながら、ちょっと大人な食事とお酒。  
阿佐ヶ谷であなたのお気に入りのお店を見つけてみませんか？



大人の音楽、大人のお酒を楽しめる駅近くの別世界

### 阿佐ヶ谷スタッカート



住 阿佐谷北2-1-1 6F  
営 19:00-23:30 休 日・祝

落ちていた雰囲気でカウンター越しの眺めもよいライブバー。ジャズを始め、ラテン音楽などのライブを開催し、演奏者のレベルの高さとライブの質に定評がある。バータイムはノーチャージでゆったりと会話やお酒を楽しむことができ、国産ウイスキーやルーマニアワイン、クラフトジンなど珍しい銘柄のお酒も取り揃える。



大きな扉が目印のジャズが流れる居心地よいカフェ&バー

### ミステー オーパース

1991年開業、現在は2代目で夫婦が経営するカフェ&バー。ホテルで料理人修行を積んだマスターが腕をふるう豊富な食事やおつまり、カクテルが自慢。ランチは焼きカレーや焼きサンドイッチ、ディナーはピザや温野菜サラダが人気で、自家製コーヒーゼリーなどもあり、時間帯を問わず気軽に利用したい。

住 阿佐谷南2-16-8  
電 03-3317-3434  
営 11:00-24:00 休 日



非日常空間のビストロでジャズに聴き入る

シェモア CHEZ MOI



住 阿佐谷南2-21-16 電 080-7414-6697 営 木・金 18:00-23:00 土 17:00-23:00 日 17:00-22:00 休 月・火・水



「パリの片隅に古くから佇んでいるようなビストロ」をイメージした店内で流れているのは雰囲気にぴったりのジプシージャズ。非日常的だが心地よい空間でここが阿佐ヶ谷だということを忘れてしまう。元パーティシの店主が作る料理はワインとの相性もよく、前菜盛りを始め、ガレットも人気。1人でもゆっくりと過ごせるカウンター席と、2・3人用のテーブル席もあり。